

第5次総合計画 成果指標一覧

資料 9

R2目標達成
未達成(数値向上)
未達成(数値低下)
未達成(数値維持)

【住民満足度】

基本指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
			実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
武豊町の住みごっこ	町民意識調査で住みやすいと評価した割合	80.6%	85.4%	86.0%	86.9%	83.3%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
今後の居留意向(町民)	町民意識調査で今後も暮らしたいと回答した割合	86.3%	89.3%	87.4%	90.8%	84.2%	増加	上下変動の傾向がある指標。H29より低下しているが高い値で推移している
今後の居留意向(中学生)	中学生意識調査で今後も暮らしたいと回答した割合	61.7%	79.4%	80.5%	74.6%	67.1%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
武豊町の魅力や誇り	町民意識調査で魅力や誇りを感じると回答した割合	50.4%	63.8%	63.6%	62.8%	56.3%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
現在の幸福感	町民意識調査における幸福感に関する10段階評価の平均値	—	7.0	7.0	7.0	6.8	増加	わずかに低下している。低下した初年度であるため今後の推移に注視する
5年前と比べた幸福感の変化	町民意識調査でより幸せになったと回答した割合	—	25.0%	25.1%	21.8%	19.1%	増加	「より幸せになった」に「変わらない」を加えるとH29より高くなっている。不幸になったは減少している

【しあわせプラン】

しあわせ目標	しあわせ指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
子育てがしやすく・子どもが安心して暮らせるまち	子育て世帯の「子育てのしやすさ」に対する満足度	町民意識調査で「子育てのしやすさ」に『満足』または『やや満足』と回答した子育て世代の割合	—	37.0%	41.6%	40.5%	45.3%	50.0%	数値向上
	「地域で子どもの安全・安心が確保されている」と感じる町民割合	町民意識調査で『地域で子どもの安全・安心が確保されている』と回答した割合	—	20.2%	21.2%	21.8%	20.3%	35.0%	ほぼ横ばいの値。20代・30代・40代の子どもを持つ世代の値は上昇している
	「学校を楽しんでいる」と感じる中学生の割合	中学生意識調査で学校について『とても楽しい』または『どちらかといえば楽しい』と回答した割合	—	87.1%	87.6%	91.0%	86.0%	100.0%	「楽しい」が減り、「楽しくない」が増えておりその間(どちらかといえば楽しい、楽しくない)の回答は変わらない。減少した初年度であるため今後の推移に注視する
あたたかい絆が育まれているまち	地域で支え合う風土があることへの満足度	町民意識調査で「近所で共に助け合い、支え合う関わりがある」に『満足』または『やや満足』と回答した割合	—	15.8%	17.1%	17.9%	20.7%	20.0%	R2目標達成
	地域活動に参加している町民割合	町民意識調査で『地域の行事やお祭りに参加している』と回答した割合	—	32.7%	47.3%	47.8%	43.5%	40.0%	R2目標達成
	家族と良好な関係を築いている町民割合	町民意識調査で『家族と良好な関係を築いている』と回答した割合	—	91.7%	93.5%	90.9%	91.0%	92.0%	数値向上
みんなの「おもい」が叶うまち	生きがいにしていることがある町民割合	町民意識調査で『生きがいにしていることがある』と回答した割合	—	68.2%	71.0%	68.6%	65.9%	75.0%	20代で「ある」とする回答が減少している。若者が生きがいを見いだせる社会づくりが必要と考える
	自分が活躍できる場がある町民割合	町民意識調査で『自分が活躍できる場がある』と回答した割合	—	55.3%	55.3%	56.1%	51.9%	65.0%	10代は大きく上昇しているが他の世代で伸びていない傾向がある。高齢化、共働き世帯の増加に伴い、活躍できる場に身を置くことが難しくなっていることが考えられる
	みんなが集まれる場所(憩いのサロンなど)の数	憩いのサロンの拠点数	—	10か所	11か所	13か所	13か所	14か所	数値維持
	人から頼りにされていると感じる町民割合	町民意識調査で『人から頼りにされている』と回答した割合	—	53.4%	56.4%	53.9%	52.3%	65.0%	10代は大きく上昇しているが他の世代で伸びていない傾向がある。2世代、3世代同居は高くなる傾向がある。単身・1世代世帯の増加の影響が含まれると考える

【基本目標1】ともに創るまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
1-1. 住民がまちづくりに参加しやすいまち	住民参画のしやすさへの満足度	町民意識調査で「住民がまちづくりに参加しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	8.6%	10.4%	7.8%	12.3%	15.1%	20.0%	数値向上
	町政、まちづくりに関心がある住民の割合	町民意識調査で「町政、まちづくりに関心がある」と回答した割合	—	61.5%	59.7%	57.3%	57.0%	70.0%	10代、70代以上は上昇している。まちづくりに「関心がある」人は増えており中間層の「どちらかといえば関心がある」が減少した
	ボランティアセンター登録者数	基準日(6月1日)における、武豊町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録されている人数	1,002人	1828人	2,266人	2,429人	2,400人	1,900人	R2目標達成
1-2. 情報が相互に発信されているまち	住民意向の反映状況への満足度	町民意識調査で「行政に住民の意向が反映されている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	5.6%	10.7%	9.3%	12.3%	11.5%	15.0%	満足、やや満足は全体的に低いが普通を加えると年代を上がるごとに高くなる傾向を示している。70代では70%近くまでなる
	行政情報の発信への満足度	町民意識調査で「行政情報が住民に公開・発信されている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	13.1%	23.3%	21.0%	23.0%	26.6%	33.0%	数値向上
	町ホームページの年間アクセス数	当該年度における、町ホームページへの年間アクセス件数	12万件	19万件	18万件	8万件	8万件	21万件	数値維持
1-3. 住民に満足される行政サービスが行われているまち	行政サービスに対する満足度	町民意識調査で「行政サービスが充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	7.2%	19.3%	14.3%	19.6%	20.0%	25.0%	数値向上
	縦割り行政の弊害を感じたことのある職員の割合	職員アンケートで「縦割り行政の弊害を感じたことがある」と回答した割合	(平成19年)72.6%	63.8%	64.0%	—	64.0%	50.0%	数値維持
1-4. 健全に行財政が運営されているまち	税金の使い方への満足度	町民意識調査で「税金が正しく効果的に使われている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	6.2%	10.9%	8.7%	13.0%	13.1%	20.0%	数値向上
	実質公債費比率	当該年度における実質公債費比率(町の収入に対する負債返済の割合)	—	3.3%	3.1%	2.0%	1.0%	5.0%以内	R2目標達成
	広域行政事務数	広域で実施している事務数	4事業	6事業	6事業	6事業	6事業	7事業	数値維持

【基本目標2】安全に暮らせるまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
2-1. 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち	徒歩や自転車で道路を安全に通行できることに対する満足度	町民意識調査で「徒歩や自転車で道路を安全に通行できる」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	9.5%	18.1%	14.1%	16.4%	27.8%	20.0%	R2目標達成
	通学路の歩道設置率	基準日(4月1日)における、公安法第6条第3項の政令で定める通学路のうち歩道が設置されている延長の割合	68.8% (—)	78.1% (59.4%)	— (59.4%)	— (59.4%)	— (59.4%)	80.0%	県下で集計していたデータを指標としていたが集計方法が変更になりH27年度以降データを得られなくなった。参考値として現在の集計方法による歩道の設置率を()で表示した。
	交通事故発生件数(人身事故)	当該年度の交通事故発生件数(人身事故)	306人	202人	156人	149人	145人	190人	R2目標達成
2-2. 道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち	主な幹線道路の整備率	基準日(3月31日)における、主要幹線道路4路線のうち整備済みの延長の割合	41.7%	55.6%	55.6%	54.3%	55.5%	68.1%	数値向上
	車での移動のしやすさの満足度	町民意識調査で「幹線道路が整備され車で移動がしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	29.3%	34.5%	30.3%	33.1%	31.0%	40.0%	20代・30代では上昇しているがその他の年代で低下傾向を示している。移動先、移動範囲で評価が分かれていると考える
	公共交通機関の利用しやすさの満足度	町民意識調査で「公共交通機関が利用しやすく便利である」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.9%	25.5%	22.1%	29.5%	24.3%	30.0%	10代・20代・30代は大きく伸びているが60代・70代は落ち込んでいる。鉄道を主に念頭に置いた回答と考えられ、若年層は駅まで容易に行けるが高齢者は駅までの移動が困難で駅までの移動についても考慮したものと考えられる。高齢化に伴い値が下がったものと推測される

2-3. 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち	犯罪発生件数	当該年の刑法犯発生件数	504件	306件	252件	230件	223件	280件	R2目標達成
	災害への備えができていない住民の割合	町民意識調査で「普段から災害に備えている」と回答した割合	39.9%	49.2%	53.2%	51.2%	50.2%	55.0%	60代以上で上昇しているが他の年代が伸びていない。特に30代で低下している。引き続き地域の防災訓練への参加を呼び掛けるなど町としての情報発信に努める
	木造住宅耐震診断実施戸数	当該年度までに「民間木造住宅耐震診断事業」により、耐震診断を実施した木造住宅の総戸数	852戸	1,173戸	1,254戸	1,361戸	1,400戸	1,600戸	数値向上

【基本目標3】ふれあいのあるまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
3-1. 集い・憩える魅力的な場所があるまち	公園を利用する人の割合	町民意識調査で「近所の公園や児童遊園地を利用している」と回答した割合	31.4%	28.6%	30.8%	28.4%	25.8%	30.0%	20、30、40代で低下している。10代は児童館、50代以上は公園の利用が想定されるがいずれも上昇している。
	1人当たりの公園面積(都市公園、ちびっこ広場等)	基準日(3月31日)における、町内にある都市公園、緑地、ちびっこ広場、子どもの遊び場等の人口一人当たりの面積	21.8㎡	22.3㎡	17.3㎡	17.2㎡	17.1㎡	23.0㎡	H25.3.31にて名古屋市野外活動センターの廃止により、1人あたりの公園面積が大幅に下がった。その後は開発行為による公園の増加はあるものの、人口増加の割合の方が大きい。そのため、一人当たりの面積は減少している [都市計画課]
3-2. 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち	趣味やスポーツを楽しんでいる住民の割合	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいる」と回答した割合	56.6%	52.6%	53.7%	54.7%	52.9%	65.0%	60代以上で上昇しているが他の年代が伸びていない。特に50代で低下している。全体としては、基本的に横ばいで推移している
	社会教育・文化振興事業の参加者数	当該年度における、社会教育、文化振興(中央公民館)および町民会館文化振興事業の延べ参加者人数	30,649人	29,755人	31,380人	28,992人	28,243人	33,000人	年によって増減があり、30,000人前後で推移している。共働き世帯の増加に伴い、余暇を文化・芸術に充てる時間が減ってきていることが想定される
3-3. 地域活動が活発に行われているまち	地域活動に参加している町民割合	町民意識調査で「地域の行事やお祭りに積極的に参加している」と回答した割合	39.8%	32.7%	47.3%	47.8%	43.5%	40.0%	R2目標達成
	自治区の加入率	当該年度における、自治区に加入している世帯割合	71.2%	68.0%	68.3%	67.3%	64.9%	70.0%	高齢化、共働き世帯の増加に伴い、地域活動への参加を負担に感じるものが一つの要因として予想される。単身、1世代家庭の増加に伴い町内の世帯数全体は増加傾向にある

【基本目標4】子どもが健やかに育つまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
4-1. 安心して子どもを 生み育てることができるまち	子育てしやすい満足度	町民意識調査で「子育てがしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	17.7%	24.4%	24.7%	25.9%	22.2%	30.0%	20代・30代で「満足」は上昇している。「やや満足」を加えると値が落ち込んでしまう。多様な働き方であった子育て支援の充実が求められる
	子育て支援センターの延べ利用者数	当該年度における、子育て支援センターの利用者数	9,588人	18,536人	18,625人	19,788人	20,698人	19,000人	R2目標達成
	母子関係事業の参加延べ人数	たまごろう教室(両親教室)等母子関係事業への参加延べ人数	2,699人	3,837人	3,820人	3,284人	3,305人	3,850人	数値向上
4-2. 働きながらも子育てをしやすい環境が整っているまち	1・2歳保育の定員数	1・2歳保育の定員数	111人	180人	207人	225人	237人	240人	数値向上
	児童クラブの定員数	児童クラブの定員数	78人	200人	210人	245人	260人	260人	R2目標達成
4-3. 子どもが楽しく学校生活を送っているまち	不登校児童・生徒の復帰率	当該年度に、30日以上登校しない、あるいははたかともできない状況(病気や経済的な理由によるものを除く)にあった児童・生徒が復帰する割合	40.0%	39.4%	42.5%	30.7%	50.0%	55.0%	数値向上
	学校給食の残食率	給食センターが作ったおかずの量と主食(ご飯、パン)と牛乳を除いた学校からのおかずの残量の割合	3.2%	1.2%	1.3%	0.9%	0.9%	1.0%	R2目標達成

【基本目標5】いきいきと暮らせるまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
5-1. 楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられるまち	健康づくりの機会や対応への満足度	町民意識調査で、「健康づくりの機会や対応が充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	16.0%	20.9%	17.8%	20.8%	22.2%	25.0%	数値向上
	特定健診の受診率	特定健診対象者のうち受診した人の割合		49.3%	51.5%	57.9%	56.6%	60.0%	40代前半、60代前半の受診率の減少幅が他に比べて大きかった。減少した初年度であるので、今後も推移を注視していく。【保険医療課】
	病院や休日診療などの受診しやすさへの満足度	町民意識調査で、「病院や休日診療などを受診しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	20.0%	23.2%	21.7%	23.6%	23.6%	30.0%	数値維持
5-2. 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち	認知症サポーター延べ養成者数	認知症サポーター養成者数の延べ人数	—	890人	1,310人	2,398人	2,886人	1,600人	R2目標達成
	「憩いのサロン」拠点数	憩いのサロンの拠点数	—	10か所	11か所	13か所	13か所	14か所	数値維持
5-3. みんながお互いを理解しやすい心を持っているまち	地域で支え合う風土があることへの満足度	町民意識調査で「地域でともに助け合い、支え合う風土がある」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	15.6%	15.8%	17.1%	11.4%	20.7%	20.0%	★R2目標達成
	男女共同参画への満足度	町民意識調査で「男女が差別なく参画できる社会となっている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	10.6%	13.7%	10.8%	12.8%	14.3%	18.0%	数値向上
	異世代や外国人との交流がある住民割合	町民意識調査で「他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあっている」と回答した割合	27.3%	40.2%	40.3%	43.2%	38.5%	45.0%	H25以降上昇傾向であったが、H30において低下した。全年代で低下傾向を示しているが、20代の低下が大きく出ている。また、女性の低下もみられる

【基本目標6】自然環境と生活環境が調和したまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
6-1. みんなが自然環境を大切にしているまち	自然を身近に感じられることへの満足度	町民意識調査で「水や緑などの自然を身近に感じられる」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	40.8%	46.4%	48.8%	46.6%	38.3%	50.0%	40代と高齢者を中心に低下している。武豊町は自然公園もあり自然とふれ合う環境は整っているため、住民の自然に対する認識の変化も考えられる
	河川の水質(石川、堀川、新川でのBOD濃度の平均)	石川、堀川、新川でのBOD濃度の年度平均値	3.5mg/L	3.3mg/L	2.6mg/L	2.9mg/L	3.0mg/L	3.1mg/L	R2目標達成
6-2. 環境へ負荷をかけない生活環境になっているまち	省エネルギーやごみの減量に心がけている住民割合	町民意識調査で「省エネルギーやリサイクルに心がけている」と回答した割合	85.8%	86.7%	92.1%	88.3%	83.8%	93.0%	全年代で値の低下がみられる。ただ、非常に高い値での推移であるため、町として引き続き啓発に努める
	1人当たりのもえるごみ排出量/日	当該年度のごみ排出量(資源を除く)の住民一人当たりの1日の量	598g	573g	543g	548g	506g	550g	R2目標達成
	資源化率	当該年度の資源排出量/資源を含めたごみの総排出量×100	29.6%	31.3%	31.6%	33.9%	35.3%	42.0%	数値向上
6-3. 快適で豊かな住環境が整っているまち	住環境への満足度	町民意識調査で「暮らしやすい住環境が整っている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.7%	41.5%	42.0%	52.0%	35.3%	45.0%	全年代で低下傾向にある。暮らしやすいとする定義ついて求めるところが高くなってきていると考える
	汚水処理人口普及率	基準日(3月31日)時点の、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティ・プラントの汚水処理施設の整備人口/行政区域内人口×100	65.0%	83.8%	84.4%	86.2%	86.7%	90.0%	数値向上

【基本目標7】活力に満ち誇りをもてるまち

めざすべき まちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
7-1. 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち	町の中心部の魅力や活気への満足度	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活気づいている」こと、『満足』または『やや満足』と回答した割合	5.6%	10.8%	9.5%	10.6%	11.3%	20.0%	数値向上
	鉄道主要駅の年間乗降客数	当該年度のJR武豊駅、名鉄上ヶ駅、知多武豊駅、富貴駅における年間乗降者数	170.7万人	178.0万人	189.5万人	193.7万人	200.6万人	180万人	R2目標達成
7-2. 産業が活性化しているまち	年間商品販売額	商業統計調査による、当該年度直近の年間商品販売額	(平成16年) 365.7億円	(平成24年) 284.6億円	(平成26年) 303.0億円	(平成28年) 330.9億円	— 億円	380億円	商業統計調査が他の調査に統合されたため値集計不能となった
	耕作放棄地面積	「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で把握されている遊休農地面積のうち、要活用農地を除いた面積	39.7ha	42.2ha	44.2ha	37.9ha	36.3ha	40.0ha	R2目標達成
	町内企業の従業者数	事業所・企業統計調査による従業者数	(平成16年) 13,878人	(平成24年) 14,970人	(平成26年) 15,114人	(平成28年) 14,105人	(平成30年) — 人	15,000人	事業所・企業統計調査が他の調査に統合されたため値集計不能となった
7-3. 住民が誇りを持って生活しているまち	町に愛着を持っている住民割合	町民意識調査で「武豊町に愛着がある」と回答した割合	77.2%	82.9%	85.2%	84.6%	80.2%	83.0%	武豊町で暮らしたい方の理由としまちに愛着があるとする回答が低下している。「交通の便がいい」「買い物外食が便利」の回答が高くなっており、回答が分散したための低下と考える。 参考：武豊町で暮らしたい方は値84.2%と高い値を維持している
	地元の農畜産物を購入するようにしている住民割合	町民意識調査で「できるだけ地元の農畜産物を購入するようにしている」と回答した割合	46.3%	51.4%	57.2%	55.8%	56.4%	55.0%	R2目標達成